

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890200011
法人名	有限会社 ウェルケアサービス
事業所名	ウェルえがお
所在地	愛媛県今治市恵美須町2丁目2番地1
自己評価作成日	平成 22年 7月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

事業所は、利用者様第一主義の理念の元、運営者と職員が丸となって日々の支援に取り組んでいる。特に地域との交流には積極的に参加し、定期的なボランティア劇団の慰問公演、地域の子供を招待しての交流等行っている。又、毎年恒例になっている【観梅会、花見、バラ公園見物、藤棚見物、初詣、特等席でのおんまくの花火見物、紅葉見物】等の外出行事の他、【端午の節句、七夕会、夏祭り、月見会、運動会、節分、クリスマス会】等のホーム内での行事で四季を感じられる様、努めている。こすもす(3F)では、利用者様の体調面等もあり、なでしこ(2F)程の頻繁な外食等は行っていないが、その分ユニット内での行事に力を入れている。今後も地域とのふれあいの機会を多く設け、地域密着型事業所として、地域に愛される事業所を目指して行きたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●事業所建物の玄関先に机を出して食事をされたり、利用者が行ってみたいと希望するレストランに出かけてみることもある。又、事業所では市内のホテルでバイキングを楽しむことが恒例となっており、ホテルの方は、利用者の状態を知ってくれており、食材を小さく刻む等してくださるようだ。
●ユニットそれぞれに利用者のお好きなものを採り入れながらメニューを決めておられ、新聞広告を見ながら食べたいものを聞くこともある。食材は地域の肉屋等、専門店から届けてもらっている。事業所では、食事作り担当の職員を配置して、手作りでおいしい食事を提供できるよう努めておられる。食事時には、職員も一緒に席に着き、利用者が手を付けていない器を手前に寄せたり、メニューについて話題にしながら一緒に食事をされていた。食後は、職員と後片付けをされている利用者もあり、食器を拭いている利用者も見られた。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 む の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 む の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

ウェルえがお

(ユニット名)

こすもす

記入者(管理者)

氏 名

竹内 公美

評価完了日

H22 年 7 月 1 日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 管理者は事業所の理念を理解し、理念の共有を図る様、職員に日常的に話をしている。又、理念をスタッフルーム及びユニットフロア内に明示する事により、理念の意識付けを図っている	
			(外部評価) 各ユニットの出入り口に事業所の理念を掲示されている。事業名でもある「えがお」を大切にしたい支援に努めておられ、事業所は「ここなら安心」「あそこなら大丈夫」と、心から思っている事業所を目標とされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 婦人会、自治会、商店街の催し等の地域行事には積極的に参加をしている他最近では、地域の子供たちをホームに招待し、交流を深めている。又、天候や利用者の体調によるが、近隣の散歩は日常的に行っている。	
			(外部評価) 昨年は、新型インフルエンザ対策のこともあり、地域交流を控えた時期もあったようだ。法人代表者は、自治会の役員をされ、地域の行事等にも協力をされている。商店街の市民スペースで利用者の作品を展示されたり、ボランティアの方が来られて踊りを見せてくれるようなこともある。近くの公園に散歩される時等には、ご近所の方にあいさつをされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の理解や関わり方についての相談対応や家族等の見学については、いつでも対応している。又、外出支援を積極的に行う事で認知症の理解を得られるよう努めている。最近では、手話教室を開催し、地域の人々に好評を得ている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1度の運営推進会議にて、業務報告を行い市職員や民生委員、家族等と色々な事を話し合い、その場で出た意見・要望等をサービスに活かせる様、努めている	
			(外部評価) 会議時には、地域の方から地域行事を教えてもらったり、災害時の協力体制が作れる等、管理者は「会議を重ねるごとに地域の方との関係も深まった」と感じてもらった。会議では、利用者の状況を報告したり、行事内容をユニットごとに伝えたり、今後の行事予定や「取り組んでいきたいこと」を発表されている。	すべてのご家族と地域のいろいろな立場の方には、早めに会議の日程を案内されているが、それぞれご都合もあり、現在は出席いただける方が限られているようだ。又、管理者は「会議の内容等についてワンパターンになりつつある」とも感じておられ、法人代表者は、今後「他事業所の事例」等も参考にしながら、会議のメンバーや議題等を工夫していきたいと話しておられた。地域のいろいろな方から事業所のケアサービスについて、感想や意見を聞けるよう取り組みをすすめていかれてほしい。さらに、事業所の理念を地域の方達にも知っていただいたり、評価結果等を活用して、今後の事業所の取り組みについて具体的に話し合われてみてはどうだろうか。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 毎月の入居状況の報告の他、退去者の相談援助等の相談を行っている	
			(外部評価) 利用者の状態やご家族への対応等について、市の担当者に相談された際には、市の方が様子を見に来てくださった。会議時には、市内グループホームの事故報告の集計結果について説明して下さったり、事業所の行事の取り組みについて「いろいろなところに出かけ行くことは、よいと思う」と感想をいただいた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ホーム内での拘束防止は徹底しており、玄関も日常的に開放している。又、ベッド柵等を使用する場合は家族等に確認し、禁止対象行為にならない様に使用している（四方を囲まない）	
			(外部評価) 職員は、身体拘束についてのマニュアルに目を通すようになっている。毎月のミーティング時には「利用者が安全で自由に生活できるよう」話し合われている。	

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等において利用者の様々な状態における対応を話し合い、虐待防止に努めている	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度概要等の説明、申し立て手続きに関する専門機関や相談窓口の紹介等に努めている	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には十分な説明を行い、納得して貰っている	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者及び家族等の要望・意見・苦情等は管理者や職員を通じて把握している。又、1F玄関とホーム入口に意見箱を設置している他、家族等が気軽に要望等を訴えられる様な雰囲気作りにも努めている他、年2回の家族会において、意見・要望等の把握に努めている (外部評価) ご家族からの要望もあり、ユニット入口に今日の勤務職員が分かるよう名前と写真を示すようにされていた。年2回「家族会」を開催されており、回を重ねるごとに家族同士の親睦も深まっているようだ。ご家族は、利用者ご本人の症状等について、職員に「ご迷惑を掛けてます」と恐縮がられることもあるが、職員は、ご本人の「いいところ」を伝えて、ご家族に「安心」してもらえるように努めておられる。	 ご家族の中には「お世話になっているからこそ、言いにくい」という心情をお持ちの方もあっていただろうか。今後、さらにご家族の心情を踏まえて、利用する側であるご家族の声を多く引き出せるような工夫に努めていかれてほしい。評価結果等を活用して運営やケアサービスについて等、ご意見や要望を具体的に引き出し、事業所のサービスの質向上への取り組みをすすめていかれてほしい。又、運営推進会議にも参加いただけるよう、働きかけを工夫されてみてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			定期的にミーティングを開き、要望等可能なものは実施している。	
			(外部評価)	
			毎月ユニットごと、主任を中心にミーティングを行い、話し合ったことは、管理者（施設長）に報告するようになっている。	職員は「運営者等とも話し合いながら、さらにホームをよくしていきたい」と話しておられた。又、運営者等も「職員の意見は大切」と考えておられる。事業所の理念に基づいた運営をすすめていけるよう、運営者等を交えた話し合いの機会を増やし、運営に反映して事業所のさらなるサービスの質の向上を目指していかれてほしい。さらに、職員のチームワークを育てていくような取り組みにも力を入れて取り組まれ、運営推進会議時やご家族等にも取り組みについて報告されてはどうだろうか。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			ホームの行事等には代表者も積極的に参加し、管理者や職員の努力や工夫を把握する様、努めている他、介護職員処遇改善交付金を活用し、就業環境の向上に努めている	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			希望する研修等には働きながら受けられる様、勤務調整等に努めている	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			同業者間の交流ネットワークが構築出来ておらず、相互訪問等が行える同業者をつくるのが、今後の課題である	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用前に面接を行い、本人及び家族等が困っている事、不安な事、要望等によく耳を傾け、安心を得られる様、努めている	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用前に面接を行い、本人及び家族等が困っている事、不安な事、要望等によく耳を傾け、安心を得られる様、努めている	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談の段階で、他のサービスについても説明を行い、ホームを利用する場合においても仮入居期間を設け、本人や家族等が望んでいる支援が出来ているかを見極めている	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日常生活において、調理の下ごしらえや掃除等の日常作業と一緒にを行い、時には職員が指導されながら、様々な事を利用者から学ばせて貰っている	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族会や行事への参加等によって、職員と一緒に利用者を支えているという実感を持って貰える様、努めている	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会者が訪問し易い様な雰囲気作りに努めている (外部評価) 以前から利用されている美容室を続けて利用できるように、職員が同行することもある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日中はフロアで過ごして頂ける様、レクリエーションや行事等の工夫に努めている。又、一緒に外出等する事によって、連帯感を得られる様に努めている	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も相談援助を行いながら、関わっていける様、努めている	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のコミュニケーションにより、日常生活のパターンや嗜好、本人の要望等の情報を収集し、把握出来る様、努めている (外部評価) アセスメント表には、利用者個々の言葉をそのまま記入して思いの把握に努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 職員間で情報を共有し、得られた情報を日常のコミュニケーションで活かし、更なら信頼関係の構築や、より深い情報を得られる様、努めている	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員間で話し合いを行い、自然かつ安全に有する力等を発揮出来る様な生活環境作りに努めている	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している	
			(外部評価)	
			毎月、ご家族に「月間現状報告書」を送付して、ご本人の思いや状態を知ってもらえるよう取り組まれている。ご家族の来訪時等に要望をお聞きして、ユニットごとに職員で話し合い、半年ごとにアセスメントを行い、介護計画を作成されており、3カ月ごとにモニタリングをされている。ケアマネージャーは「ご本人の気持ちを大切に計画を作成する」ように努めておられる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりの状態や言動を個人記録に記入し、職員間で情報の共有しながら、日々の生活に活かしている	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			訪問・面会時等に家族等の相談・要望等に柔軟に対応している	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			利用者の馴染みの地域資源（教会や美容室等）を活用出来る様、支援している	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			利用者又は家族等が希望、又は納得している医療機関 を受診出来る様、支援している	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(外部評価)	
			ご家族が病院受診の付き添いをされているが、緊急時 や医療設備のことで、ご本人やご家族が医療機関の選 択に困っているような場合には、協力医療機関の受診 を選択肢の一つとして挙げ、ご本人ご家族の希望を聞 いて支援されている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			協力医療機関の医師・看護師とも相談しながら、日常 の健康管理等の支援に努めている	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			利用者や家族等の希望、かかりつけ医の指示を仰ぎ、 事業所として「できること・できないこと」を見極 め、出来る限りの支援を取り組める様、努めている	
33	12		(外部評価)	
			利用契約時や家族会時には「医療行為がいない場合 は事業所で最期まで支援できる」ことを説明されてい る。該当者があった場合には、職員ミーティングで対 応等について話し合い、ケアを共有して支援できるよ うに努めておられる。法人代表者は「利用者の今を大 切にしたい」と考えておられ「利用者ご本人の終末期 のあり方についての希望を把握することは、難しい」 と話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			代表者をはじめ消防署の実施する救命講習を修了しているが、新規職員等の受講は出来ていない	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			地域協力者の確保。避難訓練は定期的に実施している	
			(外部評価)	
			火災発生時、火中に投げると消火作用がある「簡易消火用具」をユニットに3本ずつ、又、共用空間等にも複数設置する等、利用者の避難経路を確保するための用具を揃えられた。使い方は、DVDを見て研修されたようだ。運営推進会議に出席いただいている町内会長の方を含めた3名の地域の方が、いざとい時には駆け付けてくれて、利用者の避難誘導をしてくれるような体制や連絡網を4月に整備された。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりの尊厳を守り、誇りやプライバシーを傷付けない様な言葉掛けや対応を行う様、努めている	
			(外部評価)	
			事業所の理念に「ゆったりと穏やかで、すまいるのある生活をおくっていただける」支援を目指すことを掲げて、職員は「利用者に安心してもらえるようコミュニケーションを大切にする」ことに努力されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりが自分で決めたり、希望を表したりする事を大切にし、それらを促す取り組みを日常的に本人と相談しながら支援している	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員は職員側の決まりや都合で業務を進めていくのではなく、利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせる様に利用者の意思を尊重し、支援する様努めている	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 生活場面にあわせた、その人らしい服装等利用者と相談しながら支援している	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員も利用者と同じ食事を一緒に楽しんで食べている。又、配膳や片付け、下ごしらえ等を有する力を活かしながら一緒に実施している (外部評価) ユニットそれぞれに利用者のお好きなものを採り入れながらメニューを決めておられ、新聞広告を見ながら食べたいものを聞くこともある。食材は地域の肉屋等、専門店から届けてもらっている。事業所では、食事作り担当の職員を配置して、手作りでおいしい食事を提供できるよう努めておられる。食事時には、職員も一緒に席に着き、利用者が手を付けていない器を手前に寄せたり、メニューについて話題にしながら一緒に食事をされていた。食後は、職員と後片付けをされている利用者もあり、食器を拭いている利用者も見られた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 主治医と相談したり、チェックシートを活用して支援している	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、声掛けを行い実施している	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄チェック表を活用し、個別の排泄パターンを把握し、早期の声掛けを行う事により、排泄の失敗防止や排泄の自立に向けた支援を行っている	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			排泄チェック表を付けて、個々にタイミングを見ながら声かけ等して誘導され、利用者がトイレで排泄できるよう支援されている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりの希望にあわせ、くつろいだ入浴が行える様、本人の意思を尊重し、体調を考慮に入れて、身体に負担が掛からない様、努めている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			職員は、入浴時に利用者をご自分で体を洗えるよう声かけされたり、利用者の体を観察して皮膚等に変化がないか確認されており、申し送りノートや口頭で情報を共有するようになっている。	
46			(自己評価)	
			利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握し、体調を考慮に入れ、日中でも居室で休息して貰っている。又、夜間眠れない利用者は状態に応じて、日中よく運動したり、医師から処方された眠前薬を服用したりして、気持ちよく眠れる様、支援している	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの服薬書類を作成し、職員間で把握出来る様、努めている。又、服薬の変更があった場合等は症状の変化等の確認に努めている	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人の意思を尊重しながら、地域の馴染みの慣わし等を利用者に主体になってやって貰ったり、有する力を活かして、新聞取り、食器拭き、調理の下ごしらえ、洗濯物たたみ、掃除等一人ひとりが楽しみ事や役割を見出せる様、場面作り等の支援に努めている	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの希望に応じて教会や美容室等への外出支援に努めている。又、全体で外出する際は四季を感じられる場所（バラ公園、藤棚見学、おんまく等）への外出支援に努めている (外部評価) 事業所建物の玄関先に机を出して食事をされたり、利用者が行ってみたいと希望するレストランに出かけてみることもある。又、事業所では市内のホテルでバイキングを楽しむことが恒例となっており、ホテルの方は、利用者の状態を知ってくれており、食材を小さく刻む等して下さるようだ。ご家族も花火見物等、事業所の行事に参加されることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には鍵付きのロッカーに預かっているが、どうしても手に持っておかないと不安だと訴えられる利用者には、家族等とも相談して少しずつのお金を手渡して、安心して貰っている	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望に応じ、日常的に電話等の通信支援は行っている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家庭的な雰囲気作りに努め、物品や装飾も家庭的な物にしている。又、各居室には表札を設置しており、自身の居室を分かり易くし、トイレや浴室等においても絵や文字で大きく分かり易い様、配慮している	
			(外部評価) 居間の壁面には、行事の写真を貼ったり、折り紙等で季節の花や魚を折って飾っておられたり、ところどころに「水分をとりましょう」と書いて貼ってあった。利用者の行動に合わせて、歯磨きがゆっくりできるよう、洗面台の前に椅子を移動している職員の様子がみられた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間には椅子・ソファ・畳コーナーを設け、利用者が好きな場所でくつろげる様な空間作りをしている。又、気のあった利用者同士で過ごす時は他の利用者から少し離れた場所に座ったり、自身の居室に招いて過ごしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりが使い慣れた家具や生活用品等を持ち込める様、入居時に家族等とも相談しながら、安心して過ごせる居室作りに努めている	
			(外部評価) 居室に椅子やテーブルを持ち込んでおられる方があった。職員が、ポットにお湯を入れてお茶のセットを用意され、利用者がお好きな時に飲めるようになっていた。利用者によってご自分の布団を持ち込んでいる方やカーペットの上に布団を敷いておられる方もあった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者一人ひとりの身体機能を活かせる様、手すりの設置等、出来るだけ自立した生活が送れる様、安全で使い易い工夫をしている。	